

議会だより

No.207

2018.2.1

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



学校紹介シリーズ

茨城町立長岡小学校

願いをこめて！
ならせ餅体験学習



12月定例会開催

主な
内容

正副議長就任あいさつ……………	2P
委員会の新しい構成……………	3P
12月定例会のあらまし……………	5P
一般質問……………	7P
お知らせ……………	10P



町民のための議会へ 茨城町議会新体制スタート

平成29年第4回定例会では、正副議長をはじめ、各委員会の委員の改選を行い、議員任期後半2年間の新しい体制が決定しました。

議長就任あいさつ



議長 福田 茂

皆さまには平素より、町議会の活動に対しまして、格別のご理解ご支援を賜り心から御礼申し上げます。

先の12月定例会におきまして、議員各位のご賛同を得て、議長の栄職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、その職責の重大さを改めて痛感いたし

ております。町民の皆さまの負託にこたえるべく、誠心誠意努力を尽くす所存でございます。

さて、昨今の地方を取り巻く状況は、少子高齢化・人口減少社会の到来などにより、持続的で活力ある社会を構築していくための大きな転換が求められており、二元代表制の一翼を担う議会の果たすべき役割と責任は、ますます大きく重要なものとなっております。

議会としては、町民の皆さまからの厚い信頼と期待に応えられるよう、町民福祉の向上に向けた政策立案機能のさらなる充実に努めるなど、町の発展のため、議会一丸となって取り組む所存でございます。

今後とも、議会への一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ



副議長 久保田 良一

先の12月定例会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、引き続き、副議長の重職を務めさせていただきますこととなりました。大変光栄でありますとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、本町におきましては、人口減少など重要かつ喫緊の課題が

山積する中、町議会は町政における最高議決機関として、町民の皆さまの多様な意見を反映し、積極的な議論を経て、民意を集約する役割が求められております。

町議会は、監視機能をさらに強化し、また真の地方創生を実現するため、政策立案機能を充実させ、町民の皆さまの負託に応えなければなりません。

私は、茨城町議会の伝統を尊重しつつ、微力ではありますが、議長を補佐し、公正かつ公平で町民に信頼され、わかりやすい議会となるよう全力で取り組む所存でございます。

町民の皆さまには、なお一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



委員会の新しい構成

委員



石川 祐一

委員



鳥羽田 力

副委員長



山西 正樹

委員長



田家 勇作

委員



澤 秀雄

委員



高安 能久

委員



久保田 良一

委員



鳥羽田 創造

委員



入野 富男

委員



川澄 敬子

副委員長



小貫 昭夫

委員長



大山 宏治

委員



福田 茂

委員



海老澤 忠

委員



亀山 勝男



総務・経済建設常任委員会

町長公室、総務部、会計課、消防本部、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、生活経済部、都市建設部及び農業委員会所管などに関する議案、請願・陳情等について調査・審査を行います。

教育民生常任委員会

保健福祉部、教育委員会所管に関する議案、請願・陳情等について調査・審査を行います。



予算・決算 常任委員会

町の当初予算、補正予算、決算に関する議案などについて、調査、審査を行います。

委員長 入野 富男
副委員長 鳥羽 田力
委員 石川 祐一
鳥羽 田 創 造
川澄 敬 子
大山 宏 治
山西 正 樹
久保 良 一
亀山 勝 男
海老澤 忠 久
高安 能 久
田家 勇 作
小貫 昭 夫
澤 秀 雄

議会運営委員会

議会を円滑かつ効率的に運営するため、定例会の会期や議案の取扱いなど、議会運営全般について協議を行います。

委員長 澤 秀雄
副委員長 高安 能久
委員 亀山 勝男
海老澤 忠久
田家 勇作
小貫 昭夫

議会広報委員会

議会だよりの編集・発行及び議会の広報・広聴に関する事項について協議を行います。

委員長 鳥羽 田 創 造
副委員長 川澄 敬 子
委員 鳥羽 田 敬 子
石川 祐 一 力 子
入野 富 男 一 力 子
大山 宏 治 一 力 子



一部事務組合等議会議員の選出

一部事務組合は、複数の普通地方公共団体が行政事務の一部を共同で行うことを目的として設置する組織で、広域連合は、多様化した広域行政需要に効率的に対応するとともに、国からの権限移譲の受け入れ体制を整備する目的で設置する組織です。いずれの組織にも議会が設置されており、議員は構成自治体の議会から選出されています。

茨城地方広域環境 事務組合議会

石川 祐一
山西 正樹
山 西 正 樹
小貫 昭夫

茨城美野里環境組 合議会

高安 能久
田家 勇作
澤 秀雄

霞台厚生施設組合 議会

久保 良一
高安 能久
田家 勇作
澤 秀雄

水戸地方農業共済 事務組合議会

大山 宏治
山西 正樹
亀山 勝男

茨城県後期高齢者 医療広域連合議会

福田 茂





平成29年 第4回定例会

【会期：平成29年12月6日～15日 10日間】

茨城町第6次総合計画の基本構想を含む議案など、12件を承認・可決・採択・同意しました。

平成29年第4回定例会は、12月6日から15日までの10日間の会期で開かれました。

開会初日には、正副議長選挙が行われ、7日には、総務・経済建設、教育民生、予算・決算の各常任委員会委員、議会運営委員会委員、広報委員会委員の選任、一部事務組合等議会議員の選挙が行われました。その後、町長より平成29年度一般会計補正予算など、9議案について提案理由の説明がありました。

11日には、一般質問が行われ、3人の議員が執行部の考えを質し、その後、議案9件、請願1件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

15日の最終日には、各常任委員会委員長より、付託された案件の審査結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり承認・可決、請願1件を採択しました。また、継続審査としていた陳情1件を継続審査としました。

その後、議会より提出された意見書1件を可決、町長より追加提出された議会選出監査委員（田家勇作氏）の人事案件1件に同意し、全日程を終了しました。

承認された議案

○専決処分の承認を求めることについて（平成29年度茨城町一般会計補正予算（第3号））
・衆議院議員総選挙に係る経費を増額する補正予算。

【全員賛成】

可決された議案

○茨城町第6次総合計画の基本構想を定めることについて

・平成30年度から平成39年度までの新たなまちづくりの指針を示す「茨城町第6次総合計画の基本構想」。

【全員賛成】

○町道路線の認定について

・長岡地内及び小幡地内における道路敷地の寄附受け入れに伴い、2路線を町道に認定。

【全員賛成】

○町道路線の変更について

・秋葉地内における筆界未定地の解消による道路用地交換に伴い、町道4132号線の終点及び延長を変更。
・奥谷地内における国営緊急農地

再編整備事業に伴い、奥谷地内の町道3202号線外1路線の起点を変更。

【全員賛成】

○町道路線の廃止について

・奥谷地内における国営緊急農地再編整備事業に伴い、奥谷地内の町道3199号線外5路線を廃止。

【全員賛成】

請願・陳情の審査結果

採択となったもの

○教育予算の拡充を求める請願

水戸市笠原町978-46

茨城県教育会館2階

茨城県教職員組合

代表 吉田 豊 外44名

【全員賛成】

継続審査となったもの

○「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

新潟県村上市三之町1番1号

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

（新潟県村上市議会議員）



意見書の提出

本定例会では、議会提案の次の意見書を可決し、内閣総理大臣など関係機関に提出しました。

○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書（議会提出）

【全員賛成】

（要旨）
学校現場における課題が複雑化・困難化する中、教職員の長時間労働などが問題となっている。教職員の教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠であり、そのための教職員定数改善などが必要である。

また、国が施策として財源保障をし、子どもたちが全国各地に住んでいても、一定水準の教育を受けられる条件整備も不可欠です。よって、国に対し、きめ細かな教育の実現のために少人数学級を推進すること及び教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持することを強く要請します。

人事

○茨城町監査委員の選任につき同意を求めることについて

田家勇作（神谷）

【全員賛成】

承認・可決された平成29年度補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	110億2756万円	5577万円	110億8333万円
国民健康保険特別会計	49億1265万円	2200万円	49億3465万円
後期高齢者医療保険特別会計	3億1722万円	1052万円	3億2774万円
介護保険特別会計	31億5778万円	2108万円	31億7886万円

○一般会計補正予算の概要

総務費 5723万円

- 衆議院議員総選挙関係経費 1870万円
- 茨城町ふるさと寄附金関係経費 3759万円
寄附金増に伴う記念品代等
- その他 94万円

民生費 6098万円

- 心身障害者扶養共済制度脱退一時金 60万円
- 自立支援給付事業費 5982万円
制度改正及び利用者増に伴うサービス等給付等
- その他 56万円

農林水産業費 13万円

- 農業水利施設整備事業費 13万円
逆川池地区ため池整備事業 認可計画書作成委託費



商工費 91万円

- 町立公園管理運営経費 91万円
潤沼自然公園内の木道改修工事に係る測量調査委託経費



土木費 ▲6619万円

- 安全安心な道路づくり事業費 ▲5410万円
防災・安全交付金の交付額確定による減
- 道路新設改良事業費 ▲1889万円
社会資本整備総合交付金の交付額確定による減
- 準用河川補修事業費 680万円
準用河川のしゅんせつ工事等に係る経費

教育費 271万円

- 小学校施設整備事業費 89万円
大戸小学校隣接地の取得に伴う用地取得費
- 公民館施設維持管理事業費 100万円
中央公民館大ホール防水改修工事に係る設計委託費
- その他 82万円



一般質問



入野 富男 議員

問 公共施設等整備基金を活用し、区管理防犯灯をLEDに

答 前向きな検討をし直す

問 各区管理防犯灯の環境面やコスト面を勘案し、LED化するため基金を充当させては。

答 補助制度の創設を検討している。

問 照明器具はLED移行への過渡期にあり、補助事業ではなく町が一括して設置することを求める。

答 他の自治体でも補助制度を設けていることなどを踏まえ、一定額の補助制度という形で制度設計を進めている。

問 一括しての切り替え工事を早期に行うほど費用対効果があらわれ、区の財政支援を可能とするものであることから、一定補助事業ではなく、全額町負担による事業実施を再度求める。

答 補助制度として検討を進めているところではあるが、本町が目指す「安全・安心なまちづくり」や



区管理防犯灯のLED化が求められる

地球温暖化対策にも資するため、来年度予算編成のなかで、改めて前向きな検討をし直すよう関係部署に指示する。

問 地域福祉基金を充実させ高齢者保健福祉の施策に活用しては

答 基金の積み増しに努め、高齢者福祉対策を推進する

問 高齢者保健福祉対策等を積極的に推進するために設置された基金が、介護事業への繰出金として計上されているが、今後どのように活用されるのか。

答 福祉に関する需要は年々増加していくことが見込まれていることから、介護事業だけでなく、高齢者支援等の福祉施策にも活用していく。

問 基金の取り崩しでは将来不安が募る。基金の規模を拡充し、積極的な運用により各種活動の活性化を図り、2025年問題等に対応できる体制を確保すべきである。

答 高齢化の進展は重要な課題であると認識しており、基金の積み増しに努め、更なる高齢者福祉対策を推進する。

その他の質問

問 財政調整基金の用途を明確に

答 条例改正を含め検討する

一般質問



川澄 敬子 議員

問 放課後児童クラブを充実すべき

答 支援員の負担軽減及び資質向上を図る
非課税世帯等への減免制度を前向きに検討する

問 夏休み・冬休み期間の支援員体制をどう充実させるか。

答 今後も夏休み期間中の追加募集を行い、支援員の勤務負担軽減を図っていく。学生アルバイトも検討する。



放課後児童クラブ支援員の充実を

問 支援員の研修の機会を保障し待遇改善を図るべきでは。

答 支援員認定資格研修を平成31年度までに全員が受講予定。支援員の資質向上を図るスキルアップ研修など、順次参加を促している。報酬は近隣市町村と同程度となっている。

問 一人親世帯等への保護者負担の減免制度をつくるべきでは。

答 利用者負担金について、非課税世帯等への減免制度は、財政状況を踏まえながら前向きに検討する。

問 国民健康保険税の値上げはやめるべき

答 一般会計からの法定外繰入も含め税率の見直しを検討する

問 平成30年度における茨城町の国民健康保険税の試算を明らかにし値上げはやめるべき。

答 来年度の国民健康保険税の収入見込み額は約8億5000万円。国保特別会計は加入者数が年々減少している一方で一人あたりの

医療費は増加傾向にあり、大変厳しい状況となっている。平成30年度からの広域化に伴い、県へ納付する必要額に対する不足額は約3億円となる。一般会計からの法定外繰入も含めた上で、税率の見直しを検討する。

問 保険者努力支援制度の内容と対応について伺う。

答 保険者努力支援制度は、医療費適正化等の取り組みに応じて国から交付金が配分される仕組みで、平成28年度の交付金額は約414万円。今後、収納率や特定健康診査の受診料の向上、糖尿病の重症化予防を重点的に行うとともに、町民の健康づくりの推進や疾病の予防・早期発見・早期治療により、医療費の抑制を図っていく。

その他の質問

問 東海第二原発の再稼働は認められないとの見解を明らかにすべき

答 東海第二発電所の安全対策に係る首長会議の際に具体的な日本原電の考え方を聞き、しかるべきときに考え方を述べていきたい



一般質問



久保田 良一 議員

問 文化的施設の整備推進を

答 整備に向けた検討を本格的に再開する

問 平成24年に「茨城町文化的施設整備方針検討委員会」を設置し、土地所得、基本設計と進むなか、事業費の大幅増が予想され、平成26年6月に事業延期の決断。3年が経過し「延期なのか中止なのか」、「延期ならば経過は」、延期決定からこれまでの対応、協議、検討はどうか。

答 事業再開にあたっては、景気動向、財政状況を含め総合的に判断するとしていることから、これまで建築単価等の動向を注視してきたが、今後も現在の水準で推移していくことが見込まれる。建設費の削減も必要であり、他市町村の事例調査など情報収集に努めている。

問 町民から早期建設を望む声もあり、文化芸術活動の拠点として必要な施設と考える。町民の利用しやすい、整備方針の見直しをし、早期の事業再開はどうか。

答 まちづくりを進めるためにも文化、芸術の振興は重要な視点であり、すべての町民が文化



現在の町中央公民館大ホール棟(体育館)

に触れる機会を創出し、新しい文化の創造のための拠点として、施設は必要である。町の財政状況も考慮し整備方針の見直しを含め、整備に向けた検討を本格的に再開する。

問 事業再開の場合、施設着工までの期間は、3年から5年を要すると想定する。その間、新たな整備方針を策定し、諸般の手続きを行っていく。

問 地域の要望に応え効率的な整備を実現する道路行政を

答 国・県道に対して強力な要請活動。町道については一層の整備促進を

問 広域交通ネットワークが形成され、その中心部である茨城町のまちづくりのポイントは道路の整備ではないか。国道、県道を含む町内における道路の整備要望に対する現状と今後の方針は。

答 6号バイパス四車線化については「茨城県国道6号整備促進協議会」や町村会、県央地域首长懇話会など、あらゆる機会に要望活動を続ける。

県道整備は周辺からみると進んでいない状況にあり、引き続き関係機関に対し強力に要望する。大洗友部線の国道6号から茨城中央工業団地までの約3・1kmは最優先区間と位置づけ、一日でも早く供用が開始されるよう働きかけている。
町道については道路整備計画に基づき、通学路整備等を優先し、より効率的な整備促進を図っていく。

平成30年第1回定例会 会期日程（予定）

期	月/日	曜	時刻	種 別	審 議 等 の 内 容
1	3/1	木	10時	全員協議会	議案一括上程、提案理由説明
				本 会 議	
2	3/2	金		休 会	議事調査
3	3/3	土		休 会	議事調査
4	3/4	日		休 会	議事調査
5	3/5	月	10時	本 会 議	一般質問 議案等の質疑、委員会付託
				委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
6	3/6	火	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
7	3/7	水	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
8	3/8	木	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
9	3/9	金	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
10	3/10	土		休 会	
11	3/11	日		休 会	
12	3/12	月	10時	議会運営委員会	付託案件の報告、質疑、討論、採決
				全員協議会	
				本 会 議	

読みやすく、わかりやすい
議会だよりをめざしていきます。
町民の皆様のご意見をお寄せ
ください。

委員長 鳥羽田 創造
副委員長 川 澄 敬子
委員 鳥羽田 敬力
” ” ” 石 祐一
” ” ” 入 野 宏治
” ” ” 大 山 治

広報委員会

傍聴ありがとうございました。
12月定例会
男 32名
女 8名
合計 40名

傍聴者数

12月定例会
12月6日 全員出席
7日 全員出席
11日 全員出席
15日 全員出席

議員出席状況